

明神 太郎 さん テスト分析レポート

中学3年生 理科 2026年5月 1学期中間テスト

81 / 100点

得点率

81%

学校の採点区分 科学的思考・表現 21/32 実験観察の技能 16/20 知識理解 44/48

全体所見

今回の理科（1学期中間テスト）は81/100点でした。用語や公式を答える知識系の設問はほぼ全問正解しており、記述式の説明問題も自分の言葉で的確に書けています。一方で、資料をもとに判断・整理する場面でのみ失点が集中しており、判断力・思考力がやや弱点として見られます。知識と表現の土台はしっかりできているため、資料の読み取り方に絞って練習すれば得点はさらに伸びます。

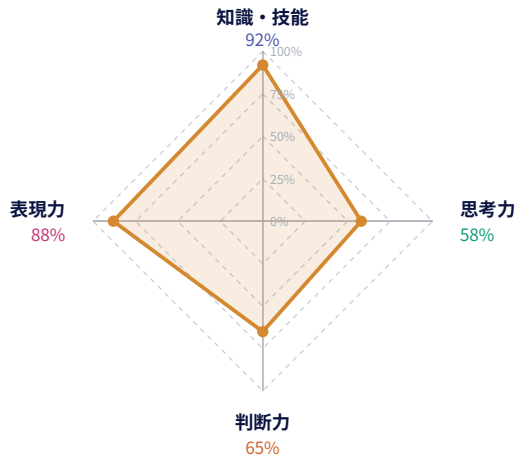
答案から見た傾向

- 01 暗記した用語や公式をそのまま書く設問はほぼ全問正解している一方、風向を図に書き込む問題や天気図・気圧配置を読み取って判断する問題で失点が集中しています。
- 02 記述式の説明問題は基本的に正確に書けていますが、文章の一部に訂正・添削の跡があり、説明の一部が不十分だった可能性があります。
- 03 図や過程を正しい順序に並べ替える設問でのみ判断ミスが見られ、個々の名称は理解できているものの、順序性の把握にやや課題があります。

明神 太郎 さん 2026年5月 1学期中間テスト (理科)

4観点の得点率

「重点」の2観点を下段で解説しています



● 知識・技能 92%

● 思考力 58%

重点

● 判断力 65%

重点

● 表現力 88%

観点別アドバイス

思考力 今回の重点

天気図や資料を読み取って理由を説明する問題での失点が見られます。資料の中のどの数値・情報を使って結論を導いたかを、答案の余白に一度書き出してから解答をまとめる習慣をつけると、抜け漏れが減ります。

判断力 今回の重点

風向図の作図や気団・前線の選択問題など、条件に応じて適切な答えを選ぶ場面でのミスが見られます。図やルールを機械的に覚えるのではなく、なぜその向き・その気団になるのかを毎回説明する練習をすると、判断の精度が上がります。

学習アドバイス

全体として81点と、知識・技能の定着はしっかりできており、記述式の説明問題でも自分の言葉で正確に書けている点は大きな強みです。今回の失点は、風向図の作図、天気図の読み取り、体細胞分裂の順序整理など、資料や図をもとに判断・整理する場面に集中しています。今後は、天気図や過程図を使った練習問題を繰り返し解き、根拠となる情報を一度書き出してから答えをまとめる習慣をつけると、安定して得点できるようになります。

太郎さんへ

大問1・大問5の記述、それに大問9の説明もしっかり自分の言葉で書けていました！次は資料を見て判断する問題を、一緒に練習していきましょう。